

# 環境配慮製品の普及に向けた取組み

当社グループは、CSRマネジメントにおけるマテリアリティ(重要課題)として、「製品・サービスによる環境影響緩和」を選定しており、2020年に向けたCSR目標のなかで、環境配慮製品の開発促進と普及を目標として掲げております。

## 環境対応製品の重点施策

**有害物質削減** ・ VOC・重金属など有害物質の削減

**省エネルギー** ・ CO<sub>2</sub>排出量削減に寄与する製品・サービスの開発・販売

ESG経営

### 顧客ニーズにも応える環境対応製品の開発

当社グループの起源は、1878年にわが国で初めて顔料としての亜鉛華の製造に成功し、当時白粉に含まれていた有害な鉛白を置換して人体への影響を低減したことにさかのぼります。

その後のコアビジネスである塗料も、船や建物、車両などの美観を保ち素材の保護を目的とした製品であり、当社グループは早くから環境保全の重要性を認識し、企業としての環境負荷低減活動はもちろん、技術革新による環境対応製品の普及にも積極的に取り組んでまいりました。

1993年には、後のレスポンスブルケア基本方針となる「地球環境宣言」を発表し、1995年にはレスポンスブルケア協議会に発起人として参加するなど、長年にわたり「有害物質削減」、「省エネルギー」といった観点を中心に、環境対応製品の開発と普及に努めています。

近年、世界的に環境規制の強化が進むなか、塗料に含まれる化学物質の規制も強化されています。当社グループではこうした規制に対応しつつ、新しい環境対応製品・塗装工程を開発することが、事業における強みにつながると考えています。

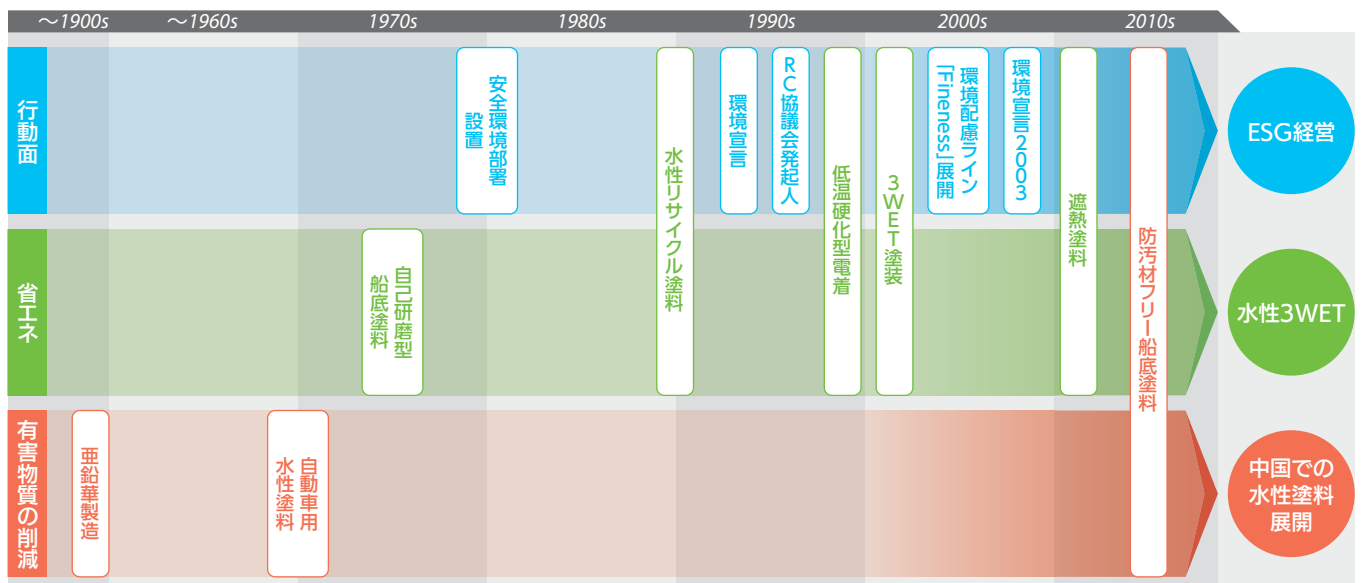
自動車用塗料事業や工業用塗料事業では、お客さまの塗装工程でVOC排出量を低減する水性塗料や粉体塗料、CO<sub>2</sub>の削減に貢献する塗装工程の開発により、顧客ニーズを満たすとともに、環境対応を実現しています。

その他、住宅や道路面に塗装する遮熱塗料の開発、有害物質を含まず燃費の改善に貢献する自己研磨型船底防汚塗料の開発など幅広い分野で、環境対応製品を展開しています。

当社グループはこれからも、社業である塗料を通じた環境への貢献に幅広い分野で取り組み、事業における強みにつなげることを目指します。

## 主な環境配慮製品のあゆみと展開

※当社グループは過去から環境配慮製品の開発に取り組んでおります。





## 環境対応による価値創造が事業・収益を拡大する姿を目指す

### 有害物質削減

中国での  
水性塗料  
展開

#### グローバル規格で対応できる製品展開

中国事業は、グループ連結売上高の約4割を占める重要な事業です。さらに中国事業の内、住宅向けの内装用塗料事業は成長率が高く、中国において最も注力する領域です。

当社グループは、1992年に中国に進出して以来、ブランド力と販売網を背景に、この領域でシェアを伸ばしてきました。

ブランド力を支える強みの1つとして、環境対応製品の展開が挙げられます。なかでも住宅内装用塗料は、人の生活空間に使用されるため、特に安全性や品質が求められます。

当社グループは、お客さまが子ども部屋にも安心して使用できるように、VOCやホルムアルデヒドの含有量を低減した水性塗料を展開することで、安全性と品質を求めめるお客さまから高い支持を得ています。

また、中国では近年、危険物質の管理や大気汚染になど、環境規制の機運が高まっており、今後も環境対応製品への期待が高まっていくと考えられます。

当社グループは、今後もお客さまが安心して使用できる製品の展開を進めていきます。



### 省エネルギー

水性3WET

#### 自動車向け省エネルギー塗料を実用化

当社グループは、自動車用塗料事業を日本・アジア・米州・欧州とグローバルに展開しています。

自動車製造において塗装工程は、エネルギー使用や製造時間に占める割合が大きい工程であり、各自動車メーカーは環境への配慮から塗装工程の省工程化・省エネルギー化に取り組んできました。

当社グループでも、2002年に溶剤系塗料の3Wet塗装を実用化し、自動車メーカーへの導入を開始しました。

3Wet塗装は、従来の塗装系に比べ、塗料を乾燥させる焼付工程を2回から1回に削減することで、塗装工程で発生するVOCの低減と、省エネルギーを実現しました。

現在では、さらにVOCを大幅に低減できる水性塗料での3Wet塗装も実用化されており、先進的な環境対応を進める自動車メーカーに採用されています。

水性3Wet塗装は、溶剤系と比較して蒸発速度が遅く、温湿度の影響も受けやすいため、外観にも影響が出やすいなど、極めて難易度が高く、設計には高度な技術が求められます。

基幹産業である自動車産業は、世界各国で環境対応が求められており、塗装工程における省エネルギー化の流れは今後も着実に進むと思われます。

当社では、塗装工程も含めた環境対応技術と、外観の美しさを両立すべく、チッピング防止機能や傷回復機能などの技術改良に加え、プラスチック向けの低温硬化塗料の開発など、自動車産業の未来を担う製品開発に力を入れています。

当社グループは自動車用塗料事業において、水性3Wet塗装のほか、省エネルギーを実現するプラスチック部品向けの低温硬化塗料や塗装工程も含めた環境対応技術の開発など、自動車産業の未来を担う技術の開発に力を入れています。

